

一般耐震診断



地震が来ても大丈夫？

一般耐震診断の手順（木造住宅）

昭和56年以前に建てられた木造住宅は、現在の新耐震基準の住宅より耐震性が低い基準で建てられています。
耐力のない家は大地震がきたら、人命を奪う凶器ともなりかねません。
どこが弱いのか不足な部分があるのかを耐震診断をして知ることが出来ます。

一般耐震診断は国土交通省住宅局建築指導課監修の「木造住宅の耐震診断と補強方法」に準拠して行います。



一般社団法人埼玉県建築士事務所協会
構造設計委員会

一般耐震診断の手順

事前調査

立地条件

地盤と地形の調査



図面と建物の整合性のチェック

実際の間取りと図面の確認



建物について聞き取り調査

建物の地盤・地形・構造・蟻害など



建物調査

建物外周の目視調査

- ・ 屋根・外壁の仕様と劣化
- ・ 基礎の状態・型式・劣化



内部調査

小屋裏・1階天井内・1階床下

- ・ 壁量（耐力壁）不足
- ・ 耐力壁のバランスよい配置
- ・ 柱の上下に接合金物で緊結
- ・ 下階の耐力壁まで力が伝達されているか
- ・ 床下の土台・柱の腐朽・蟻害を調査



判定

上部構造評点

上部構造評価	判定
1.5 以上	倒壊しない
1.0 以上～1.5 未満	一応倒壊しない
0.7 以上～1.0 未満	倒壊する可能性がある
0.7 未満	倒壊する可能性が高い

費用

めやす

木造軸組み構造、2階建て、述べ床面積 100㎡まで
(図面有)の場合おおよそ 10万円

Q&A

Q1. 強い家にするには？

A1. 家を耐震補強しましょう！

Q2. 耐震補強をするには？

A2. 専門の建築士に相談しましょう。

(一社)埼玉県建築士事務所協会までご連絡ください

Q3. 建築士はなにをするの？

A3. 耐震診断をします。



Q4. 耐震診断ってなあに？

A4. どのくらい家が強いのか、家の強さを調べます。

Q5. 耐震診断でなにがわかるの？

A5. 家の強さが数値で評価されます。

耐震補強の基準になります。

Q6. いくらかかるの？

A6. 補助金制度があります！

市町村ごとに違いがありますのでご相談ください。

Q7. 面倒な手続きがあるの？

A7. 建築士が手続きを行います。

ご相談ください。



昭和56年以前に建てられた木造住宅は、現在の新耐震基準の住宅より耐震性が低い基準で建てられています。

耐力のない家は大地震がきたら、人命を奪う凶器ともなりかねません。どこが弱いのか不足な部分があるのかを耐震診断をして知ることが出来ます。

一般耐震診断は国土交通省住宅局建築指導課監修の「木造住宅の耐震診断と補強方法」に準拠して行います。